

公益財団法人ソフトピアジャパン	経営支援室	伊藤 善寛	0584-77-1166
-----------------	-------	-------	--------------

**IT/IoT 時代の人づくり・組織づくりに関する講演等
「Kaizen IT Summit in Gifu 2018」を開催します！**

公益財団法人ソフトピアジャパン、一般社団法人TMS&TPS検定協会、ぎふIT・ものづくり協議会、岐阜県IoTコンソーシアムは、人づくり・カイゼン活動に関心のある実務者及び幹部社員を対象に「IoTとグローバル」をテーマにセミナーを開催します。

本セミナーでは、IT/IoT時代の人づくり・組織づくりに関する講演、トヨタ流組織マネジメントの最新情報と実践方法、組織・チームの抜本的な働き方改革を実践している企業の事例発表を下記の通り行います。

記

- 1 日 時 平成30年9月7日(金) 10時00分～17時30分
- 2 場 所 ソフトピアジャパン センタービル 1F セミナーホール、他
(岐阜県大垣市加賀野 4-1-7)

3 内 容

<第1部 基調講演> ソフトピアジャパン センタービル 1F セミナーホール

10:00	挨拶
10:10 ～ 11:10	「Digital Transformation 時代を迎えて」～かつての”Toyota way” と ”i-Toyota vision” を参考にしたホワイトカラーのあり方について～ 蛇川 忠暉 氏 一般社団法人 持続可能なモノづくり・人づくり支援協会 (ESD21) 会長 日野自動車株式会社 特任顧問 元 トヨタ自動車 取締役副社長、相談役、顧問 元 日野自動車株式会社 代表取締役社長、代表取締役会長
11:25 ～ 12:25	「なぜ、日本の会社がトヨタを真似できないのか」 ～サービス業として捉えた IT 業界のトヨタを目指しての取り組み～ 宮田 一雄 氏 富士通株式会社 グローバルサービスインテグレーション部門 デジタルフロントビジネスグループ シニアフェロー

<第2部 事例発表、最新情報、ワークショップ>

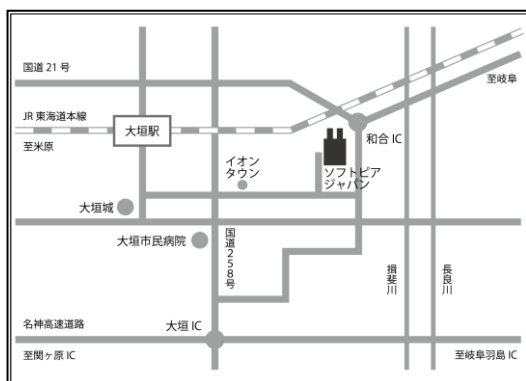
13時30分～17時30分 詳細は別紙。

4 定 員 200名 (要申込み。有料)

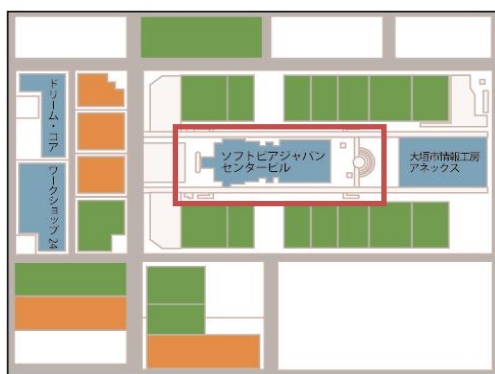
- 5 共 催 公益財団法人ソフトピアジャパン、一般社団法人 TMS&TPS 検定協会、
ぎふ IT・ものづくり協議会、岐阜県 IoT コンソーシアム
- 6 協 力 株式会社豊田マネージメント研究所
- 7 問 合 せ 公益財団法人ソフトピアジャパン 経営支援室 担当：伊藤、山内
〒503-8569 大垣市加賀野 4-1-7
TEL 0584-77-1166 FAX 0584-77-1105

<会場位置図>

(1) ソフトピアジャパン位置



(2) ソフトピアジャパン センタービル位置



<第1部 基調講演>

ソフトピアジャパン センタービル 1F セミナーホール

時間	【基調講演】
10:00	挨拶
10:10	<p>「Digital Transformation 時代を迎えて」～かつての”Toyota way” と ”i-Toyota vision” を参考にしたホワイトカラーのあり方について～</p> <p>蛇川 忠暉 氏 <small>じやがわ ただあき</small> 一般社団法人 持続可能なモノづくり・人づくり支援協会 (ESD21) 会長 日野自動車株式会社特任顧問 元 トヨタ自動車 取締役副社長、相談役、顧問 元 日野自動車株式会社 代表取締役社長、代表取締役会長</p> <p>20 年程前、国内企業は” 21 世紀の幕開け” に色々な夢を描いていた。私は当時トヨタ自動車の副社長として多くの部門を統括していたが、主に” グローバル化” “情報化” の波に全社的な方向性を示すべく専念していた。その中の「生産・調達のグローバル化に伴う” TOYOTA Way” の発信」「i-TOYOTA Vision” によるシステム改革」に絞って、百年に一度と云われるこの革新期に当たり、今なら世の中にどのような発信をするだろうかに今一度老いの思いを馳せてそれぞれの” 進化” と銘打って自論を試みたい。</p> <p>○企業活動には会社の信条（心のよりどころ）の共有が効果的成果を生む。しかし自分の信念が置き去りにになっていないか ○IoT の時代こそ情報・データの全社共有化、統一化が生産性向上に不可欠無用なデータ侵入と盲信の防御は確実か</p>
11:25	<p>「なぜ、日本の会社がトヨタを真似できないのか」 ～サービス業として捉えた IT 業界のトヨタを目指しての取り組み～</p> <p>宮田 一雄 氏 <small>みやた かずお</small> 富士通株式会社 グローバルサービスインテグレーション部門 デジタルフロントビジネスグループ シニアフェロー</p> <p>多くのトヨタ本が巷に溢れている。トヨタの OB 達はコンサルティングをビジネスにして多くの企業を指導している。しかし、トヨタの様に日本流を貫きながら改善と飛躍を両立させてグローバル化にも成功し、50 年以上も繁栄し続けている日本の企業は存在しない。</p> <p>日本人にとって当たり前だった「チームで GOAL を共有して助け合う」というワークスタイルを破壊して、矛盾を抱えた欧米流のマネジメントを盲目的に導入した結果、的外れな「働き方改革」議論が進む日本を変革する為にはトヨタを真似れば良いはずだ。なぜトヨタを真似する事が困難なのか？どうすればトヨタと同じように改善と飛躍を両立できるのか。</p> <p>短期間ではトヨタを真似ることができないという本質を見抜き、理論を学び変革を成し遂げた製造業のマツダの事例を紹介すると共に、IT 産業をサービス業と捉えて変革を開始したばかりの富士通の事例を紹介しながら、私が後輩たちに託したい個人的な想いを述べてみたい。</p>

<講師プロフィール>

○じやがわ ただあき 蛇川 忠暉 氏

一般社団法人 持続可能なモノづくり・人づくり支援協会 (ESD21) 会長

日野自動車株式会社特任顧問

元 トヨタ自動車 取締役副社長、相談役、顧問

元 日野自動車株式会社 代表取締役社長、代表取締役会長

1961年 北海道大学工学部機械工学科卒業と同時に、旧トヨタ自動車工業に入社。主に生産管理部門や生産技術畑を歩む。

1988年 トヨタ自動車の取締役となり、常務、専務を経て、1999年に取締役副社長。

2001年 業績不振に悩んでいた日野自動車の代表取締役に就任
(同時にトヨタ自動車相談役)。

現場の従業員の意識改革と顧客目線による品質経営を導入し、経営面で大きな成果を挙げる。

また、QCサークル本部長として各地域のQCサークル活動(小集団改善活動)の活性化に大きく貢献。

2004年 同社代表取締役会長、トヨタ自動車顧問に就任。

2008年 日野自動車相談役に就任。

2013年 日野自動車 特任顧問に就任。

2014年 旭日重光章 受賞。

2015年 デミング賞本賞 受賞。

2017年 一般社団法人 持続可能なモノづくり・人づくり支援協会 (ESD21) 会長に就任。
現在に至る。

○みやた かずお 宮田 一雄 氏

富士通株式会社 グローバルサービスインテグレーション部門

デジタルフロントビジネスグループ シニアフェロー

1977年 富士通入社。

SEとして銀行(信金・地銀)・証券・通信キャリアなど、数多くのお客様を担当。

SEとして、プロジェクトマネージャーとして、大規模SIのプロジェクトを数多く経験する。

2011年 株式会社富士通アドバンストソリューションズの代表取締役社長に就任。

2015年 株式会社富士通システムズ・ウエストの代表取締役社長に就任。

ICT業界におけるプロジェクトマネジメントの問題改善のため、TOCやCCPM理論に基づいた取り組みを進める。

2016年 11月から富士通株式会社の執行役員常務に就任。デジタル社会に向けたビジネスの変革と人材育成を進める。

2018年 4月から現職。

※第2部は(1)(2)(3)と会場が分かれます。

<第2部 (1)TMS アクティビティリポートコース>

ソフトピアジャパン センタービル 1F セミナーホール

時間	(全業種/経営幹部、マネージャー、リーダー、実務者向け) トヨタ流マネジメント TMS を用いて組織・チームの抜本的な改革を実践・継続されている企業様の事例発表です。全国から6社発表予定。
13:30	「第2期 研修中 - 理想のチームづくりへの軌跡」 やまざき ひろみ 山崎 広美 氏 (他2名) 株式会社 NTT データ CCS エネルギー・資源ソリューション事業本部 執行役員 副本部長 2017年4月から始めた TMS 研修、第2期を新たなメンバーで開始しました。理想のチームをつくるための苦労と成果をお伝えします
14:05	「経営層から変わる、変える TMS」 まえざわ のりこ 前沢 典子 氏 株式会社サンケイエンジニアリング 経営企画室 室長 マネジメントが変われば現場も変わる!とはよく言ったものですが、導入後は現場の意識・改善もさることながら、マネジメントの意識が変わることで一丸になって変化した軌跡をお伝えします。
14:50	「大企業の新規事業創造とカイゼン」 たにざわ ゆういちろう 谷澤 雄一郎 氏 株式会社 AOKI suitsbox 事業部 プロダクトオーナー 創業60年の紳士服専門店 AOKI がサブスクリプションの「suitsbox」事業を立ち上げた。スーツを購入せずに、レンタルで利用する新業態。販売から利用へと、なぜ自社のビジネスと競合するサービスへ挑戦したのか。企画から事業スタートまでの道のりと、立ち上げた後のカイゼン活動。トヨタから生まれたリーンスターアップを大企業で実践している事例をお話します。
15:25	「TMS 導入済組織の更なる改善について」 うえの なおと 上野 直人 氏 シンポー情報システム株式会社 ICT推進部 部長 当社では、3年前より TMS 改善塾活動を推進しております。 その間、一部の組織では一定の効果(意識の変化など)があったものの、大半の組織では形骸化している事が課題でした。 今回、塾生対象を部門長としてスタートした当社4年目となる2017年度改善塾活動の中で、私がチャレンジした試みをご紹介します。
16:15	「~改善塾をはじめて5年、ここから~ 挑戦する人々と取り巻く環境との空間を埋め繋ぐ人(エーテル)と呼ばれて」 きたむら たかこ 喜多村 貴子 氏 株式会社オージス総研 人事部人材開発センター 1期生として改善塾と出会い、自現場だけでなく、塾生間や他現場の変化(成長)に触れ、社員や関係する会社と共に成長したいと考えようになりました。「悪巧み仲間」と共に、「持続的成長を牽引する次世代リーダーの育成と、競争力と変化対応力を持った組織づくり」を目的に、トライしている様々な取り組みについてお話できればと思います。
16:50	「不易流行と実践塾 TMS」 がもう せんじ 蒲生 仙治 氏 日本ソフト開発株式会社 代表取締役副社長 「不易流行」とある通り、不易な経営理念の上に、その時代の変化に合わせた戦術をよりアジャイル的に推し進めるべく、組織マトリックスとして TMS を実践・活用していきます。

<第2部 (2)ITプロフェッショナルコース>

ソフトピアジャパン センタービル 10F 中会議室 1

時間	<p>(IT企業／経営幹部、マネージャー、リーダー、実務者向け) 現代のIT/IoTと人づくりについて、海外や日本で活躍している専門家の方々に ご登壇いただき、最新情報をお届けいたします。</p>
13:30	<p>「町工場でも成果の出せるIoT!～昭和の機械へも接続～」 増田 春輝 氏 i Smart Technologies 株式会社 Customer Success Evangelist 自社工場の改善活動のためにIoTモニタリングシステムを構築。 生産状況・サイクルタイム・停止時間・可動率等のデータ収集を自動化し改善スピード が2倍に向上。 80ラインで平均34%、最大128%の出来高向上、年1億円以上の労務費と4億円の設備投 資節減など大きな効果を上げる。他の中小企業の生産性向上のため i Smart Technologies(株)を設立。初期費用10万円、月額39,800円と負担がわずかで、後付け 汎用センサーにより改造不要で旧式設備にも導入可能なため、設立1年強で中小企業を 中心に100社以上にサービス展開中。 モニタリングのみならず、改善とデータ利用の経験が豊富なメンバーがお客様の5日分 のデータを分析し製造ラインの改善点をアドバイスするライン診断レポート作成サー ビスや、「データで人の力を引き出す」を合言葉にコンサルティングサービスも各地で開始。</p>
14:30	<p>「デジタルビジネスの潮流とアジャイル開発」 平鍋 健児 氏 株式会社永和システムマネジメント 代表取締役社長 海外ではソフトウェア開発手法としてメインストリームになってきたアジャイル開発 が、日本でも活発に導入されるようになってきました。本講演では、DX(Digital Transformation)時代にマッチしたこの手法が現れてきたビジネス的背景を説明し、「ス クラム」を例にした技術的特徴、事例、トヨタ生産方式を起源とするLeanとの関連な どについて、やさしく解説します。</p>
15:30	<p>「Leanを取り入れCAGR30%以上の急成長を達成～CI&Tのデジタルトランスフォーメー ション～」 古賀 和幸 氏 CI&T株式会社 Operations Director 「頼まれた事を完璧に作る」から「顧客体験を把握し、学びながら、驚くほど早く、最 高のプロダクトを届ける」へ。CI&Tは、全社的なLeanの導入によりソフトウェア開発 部門だけでなく、人事やビジネス部門も時代とともに変化しました。その様子には顧客 も関心を示し、近年は大企業がLeanに変化する支援サービスを展開しています。では、 何をどのように変化していったのか……。生の事例をお届けします。</p>
16:30	<p>「デジタルトランスフォーメーションの基本はTMS」 戸田 孝一郎 氏 株式会社戦略スタッフ・サービス 代表取締役 昨今IT業界のみならず全ての業界で、デジタルトランスフォーメーションが語られ、い ろいろな概念やツールが紹介されておりますが、デジタルトランスフォーメーションの 基本は、ビジネススピードを高めて、新興のデジタル企業のビジネススピードと競う事 を意味しています。ではどの様にして既存の企業がビジネススピードを格段に向上で きるのか?また、既存のビジネスへの影響は??どう対処すべきか?最新の事例を基にデ ジタルトランスフォーメーションを実現する考え方や方法を紹介します。</p>

<第2部 (3)TMS ワークショップ>

ソフトラピアジャパン センタービル 10F 大会議室

時間	(全業種/マネージャー、リーダー、実務者向け)
13:30	<p>「実践！なぜなぜ5回(階)」～目から鱗が落ち、隠れた原因が見えた～ 小原 由紀夫 氏 株式会社富士通クオリティ&ウイズダム 第2プロフェッショナルサポート事業部 担当部長</p> <p>単になぜを5回繰り返すだけでは十分な分析は難しいです。そのため、3フェーズの「なぜなぜ5回(階)」を体系化しました。(1)問題を分解する問題識別、(2)5つの質問と動詞で視点を変える5階層モデル、(3)現場から管理者、組織への私の連携により構成されます。標準化されたアプローチにより、目から鱗が落ち、隠れていた原因が見えます。現場の課題から働き甲斐と利益、さらに、経営理念に連携させる考え方を紹介します。</p>
14:45	<p>「タイムボックス・ストーミングによる効果的な合意形成の体験」 三井 伸行 氏 株式会社戦略スタッフ・サービス 取締役 一般社団法人 TMS&TPS 検定協会認定講師</p> <p>チームでの合意形成には時間がかかってしまいます。このセッションでは効果的に合意形成を実践できるタイムボックス・ストーミングをワークショップを通して体験していただきます。タイムボックス・ストーミングとは、当社で考案し実践している手法で、タイムボックスでディスカッションと振り返りをセットにして複数回のイテレーションで実践する合意形成の手法です。チームのスキルが上がり、より速く、最高のパフォーマンスを発揮することにより、QCDを確実に高めることができます。是非、ご体験ください！</p>